

キャラクター名
極刑月博士

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ノイマン		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	
	モルフェウス					
オプション	モルフェウス		年齢		性別	
覚醒	忘却	衝動	闘争		初期侵食率	33 %
出自			経験			邂逅

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	4	1	調達		
運転:			芸術:			知識:機械工学	1		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
思い出の一品					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス	消費	
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
業師	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:	2		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1							
効果:								
オリジン:レジェンド	3							
効果:								
戦術	3							
効果:								
勝利の女神	5							
効果:								
マシンモーフィング	1							
効果:								
インスピレーション	1							
効果:								
砂の結界	★							
効果:								
プロファイリング	★							
効果:								
無上厨師	★							
効果:								
万能器具	★							
効果:								
壁抜け	★							
効果:								
効果:								
効果:								

「ワハハハハハ！ 改造の時間じゃー！」

テンプレートを煮詰めたような、悪の天才博士。趣味は人体改造で、特技は人体改造。と言ってもUGNでそんな物騒なことをやっているわけではなく、専らR&D部門でその辣腕を振るっている。戦闘の際には人体改造と称して、仲間にはスコープやブースターを装着する。立場的にはRラボ所属のUGNエージェントであり、意外にも命令には素直に従う。というのも、彼はUGNを”悪の秘密結社”だと思い込んでいる節があるのだ。

「悪には協力を惜しまないのがこの僕、ドクター・クロズドラブなのじゃ」

彼のオリジンはとある個人事務所が制作していた女兒向けアニメ『魔法少女マジカル・アニマ』の登場人物。主人公たる正義の魔法少女たちと敵対する、悪の秘密結社『ロザリオ』の総帥という設定だった。彼の認識では、何らかの原因（恐らく魔法少女たちの仕業に違いないのだ）でロザリオの本部が壊滅、流浪の身であったところを、UGNなる世界を牛耳ることを目論む秘密結社に拾われた、ということになっている。元々がアニメなのでオーヴァード関連の話はあまり理解していないが、何故かFHHに対しての敵意が明確。

「ククク、もっと技術力を高め、いすれ……いすれ……？」

彼が悪の道へと踏み出すことになったきっかけは、大学時代の恋人にあった。マトモなモラルを持っていた極刑月に対して、明るいマッドサイエンティストだった彼女は、あらゆる存在に対して食作用を発揮するウイルスに人体の細胞を見分ける遺伝子を組み込み、どんなウイルスも病原体も駆除する万能薬となりうる『ロザリオ』を開発。公開しようとしたが、既得権益を失うことを恐れた大手製薬会社『ファイヤーハーツ』によって暗殺されてしまった。絶望した彼は人類への復讐のため、そして賢者の石と呼ばれるアーティファクトを使って恋人を蘇らせるため、世界征服に乗り出す——というのが、彼の裏設定。レネゲイドビーイングとなった彼は、この辺りの大事な設定を綺麗に忘れてしまっている。その原因は、アニメの放送が設定が公開される回を待たずに打ち切りになってしまったこと。極刑月博士が愛した女性のことを知る人物は、もはやこの世界に一人しか存在しない。